

2  
シーズン  
計4回の乗船で  
遭遇率  
100%維持!



# GBR Minkie Cruise

魅惑のミンキークルーズ  
第2弾!

Photo&Text=TAKAJI OCHI

Special Thanks=クーンズランド州政府観光局, DIVE7SEAS,

Mike Ball Dive Expeditions

Design=PanariDesign

数頭の群れが、こちらに  
視線を向けながらゆっくり  
と眼下を通過していった

2014年に続き、2015年もオーストラリアのクィーンズランド州、ケアンズを訪れた。  
6月末から7月頭の約3週間ほどの短い期間に、  
世界遺産・グレートバリアリーフには、  
多くのミンククジラ（ミンキー）たちが姿を見せる。  
なんと、ここではそのミンキーたちと、  
ダイビングしたりスノーケルを楽しんだりすることができるのだ!!  
今年で2年目となる、ミンキーと泳げるという、世界的にも稀有の海、GBR!  
果たして今年も遭遇できたのか!?



セスナにて、リザード島へ、そしてクルーズ船に乗船!

コッドホールや、ライトハウスボミー、スティープスポミーといった、グレートバリアリーフの人気ダイビングポイントを潜るクルーズ。ベストシーズンは、南半球の夏の時期、12月から3月頃……と思っている人も多いと思う。

しかし、もっとも早くにクルーズ船が満席になる人気のシーズンが、実はミンキーに遭遇可能な6月後半から、7月前半にかけての約1ヶ月間。

人気のダイビングポイントを巡りながら、超大物・ミンキーとの遭遇を狙う。そう書

くと、なかなか遭遇は難しそうに感じるのだけど、実際にはかなり遭遇率が高いということが定番になってきている。だからこそ、風の吹くこの時期なのに、クルーズが満席になるほどの人気だということを知ってもらいたいと、2年続けてこの時期にGBRクルーズ船に乗船し、ミンキーを狙った。

初めてミンキー狙いで乗船した2014年。この年は、3隻のクルーズ船に乗船して遭遇率を探ったが、結果、100%の海中遭遇を果たした。

ケアンズからリザード島までは、世界遺産GBRを空から堪能できる



## 2015年の6月末も、ミンキー狙いでケアンズへ! 2年連続、4クルーズ乗船で遭遇率は100%を継続!!



ミンキーならお任せ!のスポイルSPORT号

01/リザード島のビーチで、スポイルSPORT号からの送迎ポートを待つ

02/ディンギーでいざ、クルーズ船乗船!

03/移動途中でイルカの群れにも遭遇!

\*\*\*

2015年はDIVE 7SEAS協力の下、マイクボールのスポイルSPORT号に乗船し、その遭遇率を探った。

つまり、4回目のミンキー狙いクルーズ乗船。1回の乗船で遭遇率100%近いって言われてもと思われるのは当然だが、2シーズンにまたがり4回乗船して100%であれば、それなりに遭遇率の高さも実証されるのではと思う。

で、結果は? と先に言ってしまうと、今回も問題無く遭遇確率の高いポイントでの遭遇を果たし「ミンキー=レア」ではなく「ミンキー=シーズンさえ間違えなければ、遭遇率はかなり高い!」ということが理解して頂けたのではないかなと思う。

今回も、まずはケアンズからセスナに搭乗して、GBRの北を目指す。到着するのは、リボンリーフNo10にある、リザード島。ここでセスナを降りてクルーズ船に乗船し、一路ケアンズまでの3泊4日のクルーズ中に、人気のダイビングポイントを巡りながら、ミンキーを探す。



魅惑のミンキークルーズ第2弾!

# GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link  
<http://www.dive7s.com/minke.html>

← 関連情報HPへ





マーメイドローブに捕まえるスノーケラーに興味を抱きながら、ゆったりと泳ぐミンキー

## 今年も、目の前に姿を見せたミンキーたち

マーメイドローブというミンキースイム専用のローブにつかまり、前後左右に気を配りながら青い海を凝視し続ける。かなりうっすらと何か大きなものが横切っていくのが見えた。

「あそこだ！ あそこ！」心の中で叫び、周囲にいるスノーケラーが気づいているか様子を伺う。まだ気づいていないようだ、大声を出して、「あっち！ あっちにいるぞ！」と叫んで教えたいが、意識を集中できていないと、突然こちらに向かってきたミンキーに気づかずに、後方からやってきて通過されてしまうこともある。

最初は、「あ！ ちくしょう！ シャッターチャ

ンス逃した！」って思うのだけど、一度好奇心を持って近寄ってきたミンキーたちは、しばらくの間、船の周り、ローブの周りをいったりきたりして泳ぎ続ける。個体数も徐々に増えていき、3頭、4頭、5頭！ ……7頭！ ピーク時には、7頭のミンキーたちが一度に姿を見せてくれた。

そして、長いときには、2時間以上もローブにつかまって、彼らを間近で観察し、そして撮影を行った。この遭遇は、単にラッキーなのかラッキーじゃないのか？ つまりは、ミンキー遭遇はこの時期のGBRクルーズでは、当たり前なのか？ そうじゃないのか？ を2年にわたって検証した。

魅惑のミンキークルーズ第2弾！

# GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link  
<http://www.dive7s.com/mink.html>

← 関連情報HPへ



眠そうで優しい眼差し。  
目があるのわかる



01



うっすらと雲があると、  
美しい夕焼けが楽しめる



02



03



04

- 01/ ボミーを包み込むように群れる魚たち
- 02/ コッドホールの巨大ボテトコドは、こんな顔だけど愛嬌たっぷりだ
- 03/ ナイトダイビングでは、衝撃的な捕食シーンを楽しめる
- 04/ ボミー上はまるで魚たちの楽園

魅惑のミンキークルーズ第2弾!

# GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link  
<http://www.dive7s.com/mink.html>

←関連情報HPへ



善長8mというサイズは、クジラとしては小さい。しかし、十分に迫力がある。ドワーフミンキーを見れる海は珍しい



体側の模様、特に胸ビレ周囲の模様で個体識別を行っている

## 「近くでミンキーを撮影したい!」のであれば スノーケリングがオススメ



- 01/バックデッキからエントリー
- 02/エントリー前のフリーフィングは、英語と日本語で
- 03/スポイルスポーツ号のバックデッキ

スポイルスポーツ号乗船は2回目、ミンキークルーズ乗船は4回目になるわけで、すでに勝手知ったるミンキークルーズになっていたの、昨年よりも慌てずにミンキー対策ができた。

まずは、クルーズ船に乗船している撮影スタッフと仲良くなること。普段乗船していて、ミンキー撮影のノウハウを熟知していてアドバイスも得られるし、いざ撮影のときに協力してくれたりする。

ミンキーを見るには、ミンキーたちがよく

姿を見せる、ライトハウスボミーなどに停泊したときにダイビングするだけでなく、ボートから出されるマーメイドロープと呼ばれるロープにつかまってスノーケルで見るスタイルの2パターンがある。

ダイビング中にミンキーに遭遇したいというのであれば、より近くでミンキーを見たい人は、このマーメイドロープに捕まって、ミンキーが姿を見せるのを待つスタイルに集中するのがベストだ。

ダイビングでは、どうしても接近距離が遠い場合が多く「撮影」に関して満足できる距離まで来るのはなかなか難しい。しかし、マーメイドロープに捕まってのスノーケリングであれば、好奇心旺盛な個体が目の前で浮上してくれることもあるのだ!!



魅惑のミンキークルーズ第2弾!

# GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link  
<http://www.dive7s.com/minke.html>

← [関連情報HPへ](#)





普段とは違う勢いで泳いできた2頭のミンキー。一体どうしたんだろうか？

この日は、ほとんどのダイバーがダイビングをしていて、マーメイドローブに捕まっているゲストはほとんどいなかった。ローブに捕まっていたのは、僕とこの船で10年間働いている、水中カメラマンのジュリア、それにゲストが数人という状況。

僕は、親切に色々アドバイスしてくれるジュリアの隣でローブに捕まってミンキーを撮影していた。「あっちから来るわよ!」「今度は下から!」とミンキーが姿を見せる度に、僕に知らせてくれる彼女の指示に従いながら、僕も彼女の死角からミンキーが姿を見せると指をさして教えてあげたりしながら撮影を行っていた。

そんな状況で、突然ジュリアが何やら興奮しながら指差している。そこには、2

とだとは理解していなかった。

しかし、ミンキーのペニス出しシーンはかなり珍しい事だと知り、もう少しじっくり観察しておけばよかったと後悔。気づいていなかったとはいえ、写真はメスを追いかけていたオスのペニスをしっかり捉えていた。

「思っていたより、小さくて細い。泳いでいるからか、流れに負けて、後ろに曲がっちゃって、気合が感じられないし」というのが、ペニスを拡大してみたときの感想。

それにしても、昨年も遠目とは言え、親子のミンキーを海中で撮影した。警戒心の強い母ミンキーが、子クジラを人前まで連れて来る事自体レアで、なかなか

見れるものでも無いらしい。証拠写真程度ではあるけど、その時も撮影することができた。

## 10年乗船する撮影スタッフも初めて見たという貴重なシーンを激写!!

頭のミンキーが通常の動きとは違い、かなり早いスピードで泳いでいた。フィッシュアイを構えながら、その2頭を撮影。

姿が見えなくなると、ジュリアが海面に顔をあげて「タカ! 今の見た? オスがペニス出してたわよ! あんなシーン、10年乗船していて、初めて見た! 写真撮った? 研究者もまともな写真持ってないくらい貴重なシーンよ!」とこう興奮気味に叫んだ。

つまり、一頭のオスが、前を泳ぐメスに対して交尾をしようとしているシーンだったのだ。イルカやザトウクジラなどで、ペニスを出しているシーンは何度か見ている自分としては、それがそんなに珍しいこ

んなレアな遭遇が続くのも、ミンキーに縁があるのかもしれない。と、勝手に肯定的に捉えてみたりした。



こちらを見る目差しは、優しい感じがする

魅惑のミンキークルーズ第2弾!

# GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link  
<http://www.dive7s.com/minke.html>

← 関連情報HPへ





こんなレアな遭遇が続くのも、  
ミンキーに縁があるのかもしれない。と、  
勝手に肯定的に捉えてみました。

ペニスを出して、先を泳ぐメス？を追いかけるオスのミンキー

魅惑のミンキークルーズ第2弾!

## GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link  
<http://www.dive7s.com/mink.html>

← [関連情報HPへ](#)





01



スポイルスポーツ号



02



03



04



05

- 01/最終日には、サンデッキでカクテルパーティーが開かれる
- 02/下船前のクルーとゲスト一緒に集合写真
- 03/ミンキーガールによるレクチャー
- 04/清潔なゲストルーム
- 05/楽しみなのが、レストランでの食事



完全日本人対応の  
DIVE 7 SEASが、  
ミンキークルーズを  
サポートしてくれる。

今回乗船したマイクボールのミンキークルーズは、ケアンズにある日本人経営のDIVE 7 SEASが日本人向けに席を確保。日本人ダイビングシストラクターと一緒に乗船してダイビングや船上のブリーフィングなどのケアを日本語で対応してくれる。2016年度も、以下の日程でスポイルスポーツ号に席を確保している。

#### ■トリップ日程

①	2016年6月27日(月)～30日(木)
②	2016年7月4日(月)～7日(木)

このほか、日帰り最北端ツアー、日帰り最東端ツアー、体験ダイビングツアー、スノーケリングツアーなどのデイトリップに加えて、ヨンガラレッカー泊ツアー、グレートバリアリーフ泊ツアー、ホームズリーフ3泊ツアー、サンゴ産卵ツアーや、コーラルシー4泊、コーラルシーサファリ7泊のクルーズツアーなども、すべて日本人ガイドが対応してくれる。

DIVE 7SEASの人気ツアーは、「日帰り最北端ツアー」。エージンコートリーフは、ケアンズから北へ100kmほどにあるリーフ。ケアンズから日帰り圏内ではサンゴが一番美しいエリアだ。

## ミンキークルーズ経験豊富なマイクボールのスポイルスポーツ号



乗船後すぐに、クルーの紹介が行われる

全長30m、全幅10m、平均毎時15ノット。今回乗船したマイクボールのスポイルスポーツ号は、オーストラリアでの最も評価の高いダイビングようクルーズ船。揺れを最小限に抑えるように設計されたカタマランタイプ。クルーはダイビングチーム、クルー、船長、シェフを含め、常時11人乗船し、これにDIVE7SEASの日本人スタッフが加わる。室内は、全てエアコン完備。クルーズ中毎日清掃が入るので、清潔感もある。

プレミアムタイプの4部屋は、ダブルベッド、専用シャワー&トイレ、オーシャンビュー。スタンダードタイプ4部屋は、ツインベッド、専用シャワー&トイレ、オーシャンビュー。クラブタイプ4部屋は、二段ベッドで、専用シャワー&トイレ。バジェットタイプ2部屋は、二段ベッドで、共同シャワー&トイレ。

快適で落ち着いた、広々としたラウンジエリア。無料ソフトドリンクと夕食時のワインサービスがある。シェフの手作り料理は

どれも美味しい。

トップには、日よけのある広いサンデッキ、使いやすく広々としたダイブデッキとプラットフォーム、大きなカメラ用作業台とカメラ用タンク、ナイトロック用設備完備。2艇のディンギーボート搭載。

最終日には、カクテルパーティーが開かれて、船長自らギターを手に歌を披露し、クルーが踊りまくる。

魅惑のミンキークルーズ第2弾!

# GBR Minke Cruise



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link  
<http://www.dive7s.com/minke.html>

関連情報HPへ

